

§5-3. まとめ

本章の結論を、次のようにまとめた。

- 1) 色彩と香りを同次元で捉える感情次元は、＜MILD＞因子、及び＜CLEAR＞因子である。
- 2) 色彩と香りの調和性に関して、＜MILD＞因子、及び＜CLEAR＞因子の2軸によって大部分を説明することが可能である。
- 3) 感情次元上で距離の近い色彩と香りは調和関係、距離の乖離した色彩と香りは不調和関係になる傾向にあった。
- 4) ＜MILD＞因子が高得点同士の色彩（高明度の暖色）と香り（甘い印象）は調和しやすい。
- 5) ＜MILD＞因子が低得点同士の色彩（低明度の寒色）と香り（甘くない印象）は調和しやすい。
- 6) ＜CLEAR＞因子が高得点同士の色彩（鮮色）と香り（澄んだ印象）は調和しやすい。
- 7) ＜CLEAR＞因子が低得点同士の色彩（濁色）と香り（濁った印象）は調和しやすい。
- 8) 色彩と香りに介在する具体的事象が一致した場合、調和性はより安定する。